国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和８年 11 月 12 日
大臣官房公共事業調査室
港湾局技術企画課

i-Construction

港湾工事の生産性向上を推進
～「港湾における i-Construction・インフラ DX 推進委員会」を開催～

港湾において、少ない人数で、安全に、快適な環境で働く生産性の高い建設現場の実現を目指し、「第５回港湾における i-Construction・インフラ DX 推進委員会」を開催します。

国土交通省では、2040 年度までに建設現場の省人化を少なくとも３割、すなわち生産性を 1.5 倍に向上することを目指す i-Construction 2.0 の取組を進めています。

港湾局では本委員会において、ICT 施工の普及拡大、新たな技術の導入、建設生産プロセスの全体最適化、３次元データの利活用及びデータ連携を進めるための検討を行うとともに、必要な基準類の策定を行っています。

今回の委員会では、ICT 施工、海上工事のオートメーション化、BIM/CIM 活用についての本年度の取組内容及び今後の方向性について報告・議論します。主な内容は以下のとおりです。

①ICT 活用工事及び ICT を活用した潜水作業の安全対策に関する取組方針
②海上工事のオートメーション化の社会実装に向けた取組及び安全管理ルール等の検討
③BIM/CIM 活用の高度化及びデータ連携に向けた今後の取組方針

記

１．日　　時：令和８年 11 月 17 日（火）　15:00～17:00
２．場　　所：（一財）港湾空港総合技術センター　会議室（オンライン併用）
　　（東京都千代田区霞が関３－３－１　尚友会館　２階）
３．議事内容：ICT 施工、海上工事のオートメーション化、BIM/CIM 活用についての本年度の取組内容と今後の方向性について
４．メンバー：別紙参照
５．その他　：本委員会は非公開ですが、冒頭挨拶（議事開始前）のカメラ撮りは可能です。
　　撮影を希望される報道関係者は、当日 14:45 までに直接開催場所までお越し下さい。
　　会議資料及び議事概要は、後日、以下のホームページにて公開します。

（参考）港湾における i-Construction・インフラ DX 推進委員会
　　国土交通省 HP　：https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr5_000061.html

【問い合わせ先】
港湾局技術企画課港湾工事高度化室　鴨打、石田
TEL:03-5253-8111（内線:46526）　、03-5253-8677（直通）

別紙

委員名簿

＜学識経験者＞

◯岩波　光保　東京科学大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 教授

＜関係団体＞

加藤　訓生　一般社団法人 日本海上起重技術協会 審議役

岸本　高彦　一般社団法人 海洋調査協会 専務理事

小池　慎一郎　一般社団法人 日本海洋土木技術協会 専務理事

柴木　秀之　一般社団法人 港湾空港技術コンサルタンツ協会 会長

西尾　保之　日本港湾空港建設協会連合会 専務理事

藤井　敦　一般社団法人 日本潜水協会 専務理事

三代　利郎　全国浚渫業協会 業務運営委員会 委員長

村岡　猛　一般社団法人 日本埋立浚渫協会 副会長 兼 専務理事

＜行政・研究機関＞

仙﨑　達治　国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾情報化支援センター長

安部　智久　国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所 特別研究主幹

中林　茂　海上保安庁 海洋情報部 技術・国際課長

戸谷　洋子　国土交通省 大臣官房 公共事業調査室長

酒井　敦史　国土交通省 港湾局 技術企画課長

※ ○：委員長

（敬称略）